

第1回構造生命科学研究会

日時：2019年1月31日(木)・2月1日(金)

開催地：大阪大学蛋白質研究所 1階講堂

1月31日(木)

所長挨拶 (13:00-13:05) 中川 敦史 (大阪大学)

開会の辞 (13:05-13:10) 村田 武士 (千葉大学)

セッション1：生命科学の最先端技術 (13:10-15:50) 座長：原田 慶恵 (大阪大学), 村田 武士 (千葉大学)

今後の構造生命科学を支える最先端技術開発のストラテジー

若槻 壮市 (スタンフォード大学)

アクチンおよび類似タンパク質のクライオ電子顕微鏡による構造解析

成田 哲博 (名古屋大学)

中性子散乱と計算機科学の融合による蛋白質のドメインダイナミクスの解析

中川 洋 (日本原子力研究開発機構)

準安定状態、安定状態の構造情報の解析によるペプチドのアミノ酸置換の提案

光武 亜代理 (明治大学)

生体膜マイクロチップの現在

渡邊 力也 (理化学研究所)

15:50-16:20 Coffee Break

セッション2：高難度タンパク質の構造解析 (16:20-18:00) 座長：杉尾 成俊 (東京工業大学), 古寺 哲幸 (金沢大学)

解離会合を伴う光合成電子伝達複合体の構造解析

栗栖 源嗣 (大阪大学)

マルチサブユニット複合体の研究と KEK クライオ電子顕微鏡の現状

安達 成彦 (KEK)

インフルエンザウイルスの細胞内増殖機構

野田 岳志 (京都大学)

2月1日(金)

セッション3：立体構造に基づいたタンパク質工学 (9:00-10:40) 座長：木下 タロウ (大阪大学), 村田 武士 (千葉大学)

哺乳類 Wnt リガンドの構造とシグナリングメカニズム

高木 淳一 (大阪大学)

CRISPR-Cas9 の分子改造

西増 弘志 (東京大学)

常磁性プローブを用いた立体構造解析

齋尾 智英 (北海道大学)

10:40-10:50 休憩

セッション4：立体構造に基づいた創薬 (10:50-12:30) 座長：竹内 恒 (産業技術総合研究所)

Integrative Structural and Computational Biology in Drug Discovery

上村 みどり (帝人ファーマ)

構造生物学とケミカルバイオロジーの融合による概日時計の創薬研究

廣田 毅 (名古屋大学)

P2X 受容体のアロステリック調節機構

服部 素之 (復旦大学)

総合ディスカッション (12:30-13:00) 若槻 壮市 (スタンフォード大学)

閉会の辞 (13:00-13:05) 高木 淳一 (大阪大学)

【世話人】 村田 武士 (千葉大学大学院理学研究院), 竹内 恒 (産業技術総合研究所), 古寺 哲幸 (金沢大学)

【連絡先】 村田 武士 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学大学院理学研究院

Tel: 043-290-2794 Fax: 06-6879-4313 E-mail: t.murata@faculty.chiba-u.jp

URL: <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/seminar/>